

## 2. 蛍光灯照明設備

### 1) 材料・器具類

a. 詳細は設計図書による。指示のない場合は下記による。

#### b. 蛍光灯ランプ

(1) 蛍光灯ランプは、JIS C 7601 ( 蛍光灯ランプ ( 一般照明用 ) ) に適合するものとし、JIS マーク品とする。

#### (2) 蛍光灯ランプ用グロースタータ

蛍光灯ランプ用グロースタータは、JIS C 7603 ( 蛍光灯ランプ用グロースタータ ) に適合するものを使用する。

#### c. 蛍光灯器具

蛍光灯器具は、次の JIS、または JIL により製作されたものとし、そのほか下記による。

JIS C 8105	照明器具通則
JIS C 8106	施設用蛍光灯器具
JIS C 8112	蛍光灯卓上スタンド
JIS C 8115	家庭用蛍光灯器具
JIS C 8001	防爆照明器具通則
JIL 4003	Hf 蛍光灯器具
JIL 5004	公共施設用照明器具

#### c. 使用器具類


## 2) 施 工

### a. 製作図および見本の提出

特記のあるものは、あらかじめ構造および取付け方法を示す製作図を提出し、監理者の承諾を得たのちに製作する。重量の大きなものおよび取付け方法の特殊なものは、必要に応じ、建築図などに基づいて取付け方法の詳細図を監理者に提出し、承諾を受ける。

### b. 器具の取付け

(1) 器具の取付けは、その重量および取付け場所に応じた方法とし、重量の大きいものおよび取付け方法の特殊なものは、あらかじめ取付け詳細図を提出する。

(2) 重量の大きい天井取付けの照明器具などは、スラブその他構造体に、呼び径 9mm 以上のつりボルトなどで支持し、平座金およびナットを用いて堅固に取り付け、必要ある場合はねじなどにより振止めを施す。また、やむを得ず天井下地に取り付ける場合は必要に応じ補強する。

ただし、家庭用つり下げ形蛍光灯器具、システム天井用器具などの場合は、野縁に取り付けてよい。ただし、システム天井用の器具には、落下防止装置を具備する。

(3) つりボルトなどによる照明器具の支持点数は、原則として表 - 1 による。

表 - 1 照明器具の支持点数

種	類	ボルト本数
蛍光灯	20W×2, 40W×1 以上	2 以上
蛍光灯	20W×4, 40W×5 以上	4 以上

(4) 壁取付けの器具は、取付け面との間に隙間ができないようにし、体裁よく堅固に取り付ける。

(5) 木造下地で金属板張りなどの場合は、これら金属部分と取付け箱または器具の金属部分および取付け金具とは電氣的に接触しないように施設する。

木造下地のとき、器具は造営材に堅固、かつ、遮熱を考慮して取り付ける。取付け箇所の天井裏にはあらかじめ補強材、受材などを設け、これにねじ止めまたはボルト締めとする。

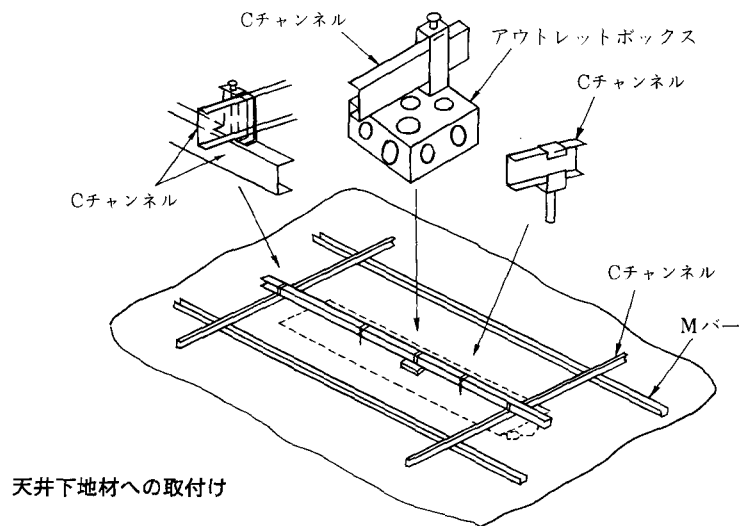
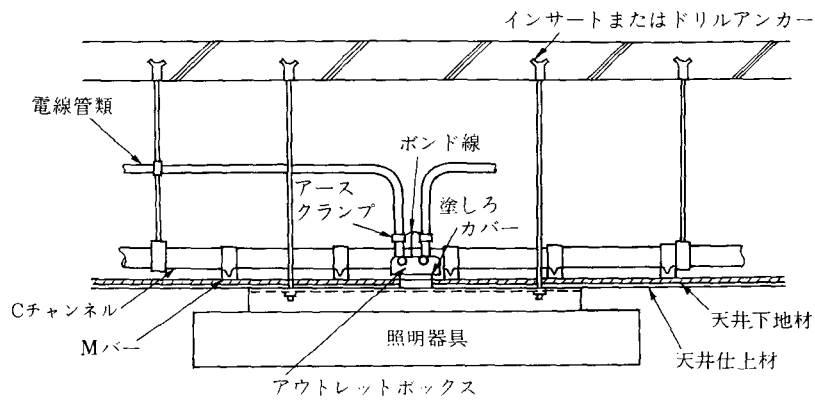
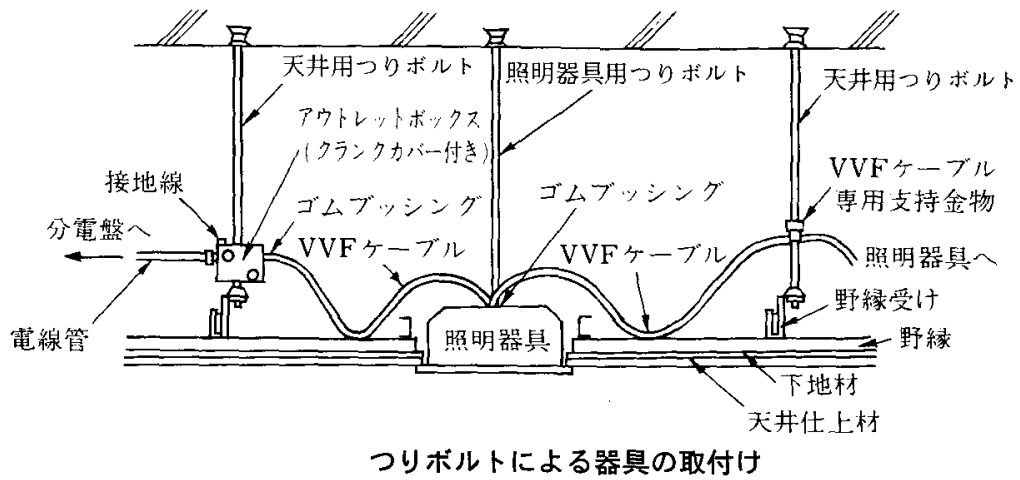
(6) コンクリートに直接取り付ける器具は、アウトレットボックスにねじ止めとするかインサートスタッドなどで固定する。やむを得ない場合は後づけアンカーなどを使用して取り付ける。

重量の大きい器具は、埋込みボルトインサートなどを使用し、必要に応じて取付け場所に補強材を設ける。

(7) 間接照明、コーブ照明などで、器具を天井または壁の一部に隠して取り付ける場合には、器具やランプが直接視野に入らないように、また、その取替えおよび結線に支障のないように堅固に取り付ける。

(8) 防水形器具は、取付け場所および器具の構造に適合した方法で取り付ける。

(9) 家庭用蛍光灯器具をつり下げる場合は、引掛けローゼットなどを使用し、電線接続部に直接張力がかからないようにする。器具重量が 5kg 以上の場合は、ローゼットの接続部に荷重が加わらないように補強する。



**c . 器具線の接続**

配線と器具の接続は、接続端子によるほか、コネクタ、圧着接続などによる、接続箇所は、器具で押圧されないように注意する。接地を必要とするものは、接地線を接続する。

4) 検査および試験

a. 器具の検査および試験

設計図書によるものとする。

b. 照度測定

照度測定を特記されている場合には、工事完了後、照度測定を行い、その記録を監理者に提出する。